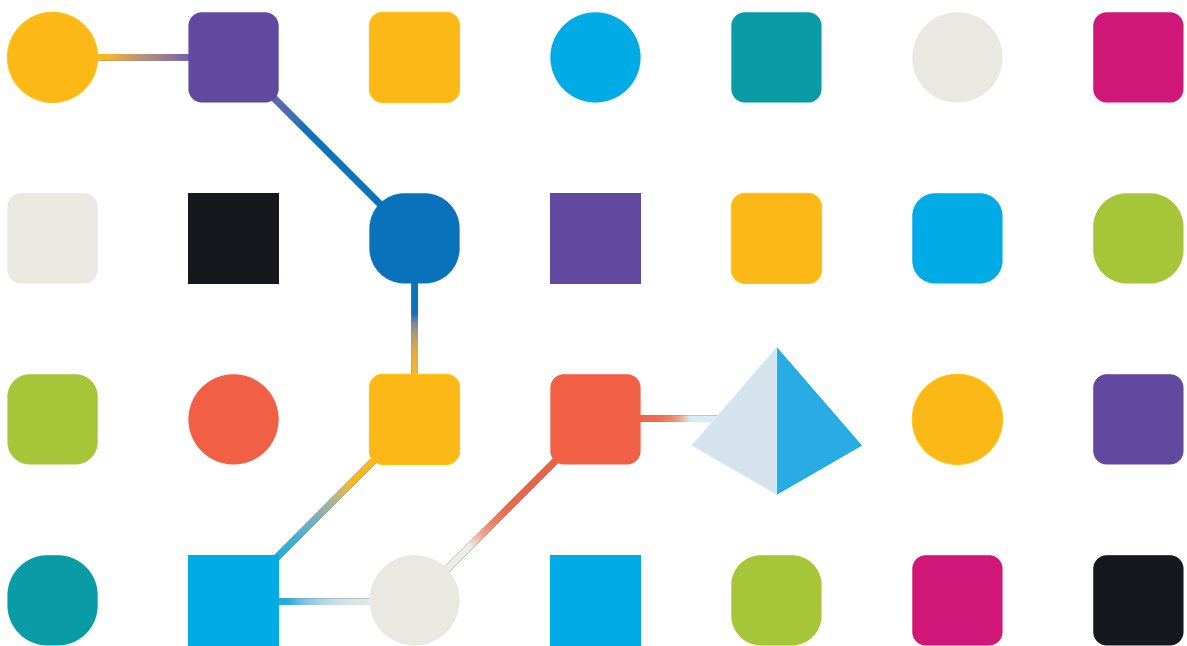


blueprism[®]

Interact Forms 4.1

ユーザーガイド

Document Revision: 1.0



商標および著作権

本ガイドに記載されている情報は、Blue Prism Cloud Limitedおよび/またはその関係会社が独占的に所有する機密情報であり、権限を与えられたBlue Prism担当者の書面による同意なしに、第三者に開示してはなりません。本文書のいかなる部分も、複写機などの電子的あるいは機械的な形式や手段を問わず、Blue Prism Cloud Limitedまたはその関係会社の書面による許可を得ることなく、複製または送信してはなりません。

© Blue Prism Cloud Limited 2001 – 2021

Blue Prism、Blue Prismのロゴ、およびPrismデバイスは、Blue Prism Limitedおよびその関係会社の商標または登録商標です。All Rights Reserved.

その他のすべての商標は本文書によって確認され、各所有者のために使用されています。

Blue Prism Cloud Limitedおよびその関係会社は、本ガイドで言及する外部Webサイトの内容に関して、責任を負いません。

Blue Prism Limited, 2 Cinnamon Park, Crab Lane, Warrington, WA2 0XP, United Kingdom。
英国で登録:登録番号4260035。電話:+44 370 879 3000。Web:www.blueprism.com

内容

Interactフォーム	4
このガイドの内容	4
要素	5
テキスト	5
数値	7
Date	9
時間	11
アップロード	12
段落	13
罫線	14
ドロップダウン	15
ラジオグループ	17
チェックボックスグループ	18
表	19
正規表現	20
例:国民保険番号	21
社会保障番号の例	22
ルール	23
ルールの例	23
ルールロジック	25

Interactフォーム


このガイドでは、ルールの使用や正規表現の使用など、Interactフォームを最大限に活用する方法を詳しく説明します。

ルールでは、フォームの表示方法を操作できます。たとえば、特定の条件に応じてフィールドを非表示または表示するための単純な「if-then」構造を作成できます。

正規表現 (regex) を使用すると、ユーザーがInteractフォームに入力するデータを制御できます。

Interactフォームを作成する場合、多くの場合、ユーザーが入力できる項目 (国民保険や社会保障番号など) を制限するためにデータフィールドを制御する必要があります。データ入力を制限すると、必要な情報を正しい形式で入力できるようになります。

Interactフォームを作成するときに使用できる要素は複数あります。テキスト要素のみが完全な正規表現機能を提供し、他の要素にはデータ入力を制御するためのその他の簡単な制限があります。

 Interactの全機能を使用するには、インターネットブラウザでJavaScriptを有効にする必要があります。

このガイドの内容

- 要素
- 正規表現
- ルール

要素

このセクションでは、各要素と、Interactフォーム内のフィールドに入力するデータを制限するために適用できるコントロールについて詳しく説明します。

テキスト

ユーザーが正しい情報を正しい形式で入力できるフィールドを作成する必要がある場合は、テキスト要素が最適なソリューションです。

標準的なテキスト要素は、以下の表で詳述するフィールドの値を設定することによって制御できる単純な正規表現の使用をサポートします。

フィールド	説明
最小文字数	フィールドに入力できる最小文字数。
最大文字数	フィールドに入力できる最大文字数の合計。
使用できる文字	ユーザーが使用できる文字セット。これは単純な正規表現を使用するため、ユーザーは「[A-F]」と入力すると、AからFまでの文字のみを大文字で入力するよう強制できます。「または」を意味する「 」など、その他の正規表現の一部を入力できます。したがって、「[A-F][a-f]」と入力した場合、ユーザーはAからFまでの文字を大文字または小文字で入力できます。下の画像を参照してください。
使用できない文字	これは、使用できる文字と非常によく似ています。ここでは、テキストフィールドで使用できない文字を指定できます。たとえば、ユーザーがテキストを書くときにアンパサンドの使用を制限するには「&」と入力するだけで済みます。
初期値	初期値]では、フォームにアクセスするときにユーザーに表示される初期値を指定できます。
送信時にデータを隠す	これは、送信する情報が機密情報であり、他の人にデータを見せたくない場合に重要なボタンです。たとえば、出生データに関する個人情報、個人の情報です。したがって、[送信時にデータを隠す]にチェックを入れると、情報の入力時にはドットが表示されます。この情報は、Interactを使用するすべてのユーザーに対してマスクされます。データがBlue Prismに転送されると、自動処理を行うDigital Workerによって「確認」できます。

Create Capture Field ✕

Type *

Mask Data on Submission

Initial State *

Label *

Automation ID *

Description

150 Characters remaining

Placeholder

Create another

Simple

Minimum Characters Length

Maximum Character Length

Allowed Characters

Non-Allowed Characters

Initial Value

数値

数値要素には、ユーザーがデータを入力する方法やデータの表示方法を制御する多数の機能があります。

Create capture field ✕

Type *
Number

Initial state *
Optional

Label *
Enter Label

Automation ID *
Enter Automation ID

Description
Enter Description
150 Characters remaining

Placeholder
Enter Placeholder

Prefix character
Enter Prefix character

Only allow whole numbers

Decimal point place
Enter Decimal point place

Show commas

Minimum value
Enter Minimum value



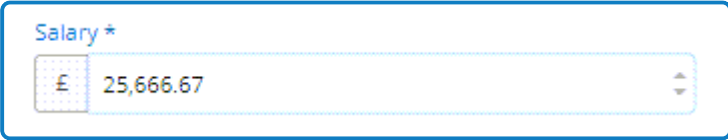
Maximum value
Enter Maximum value

Step
Enter Step

Initial value
Enter Initial value

Create another

Cancel ↶ Save

フィールド	説明
プレフィックス文字	<p>フォーム表示にプレフィックス文字を追加します。これは、金額を入力する場合に便利です。</p> <p> プレフィックス文字は、オートメーションには送信されません。</p> <p></p>
整数のみを許可	ユーザーがデータフィールドに整数のみを入力するよう制限します。
小数点の位置	入力するデータの小数点以下の桁数を指定します。小数点第15位まで入力できます。
カンマを表示	<p>数値が千を超えるたびにカンマを入力します。</p> <p>これは、単位が千から小数点までの区切り文字としてカンマを使用する英国の書式です。たとえばです。ヨーロッパでは、カンマと小数点が入れ替わる国が多くあります。</p> <p></p>
最小値	ユーザーがフィールドに入力する数値の最小値を設定します。
最大値	ユーザーがフィールドに入力する数値の最大値を設定します
ステップ	ステップ値を定義します。データ入力フィールドに「矢印」ともに入力し、ユーザーが「矢印」を切り替えると、定義されたステップで数字が強制的にステップします。
初期値	フィールドの数値の初期値を設定します。

Date

日付要素には、ユーザーがデータを入力する方法やデータの表示方法を制御する多数の機能があります。以下の空白のフォームは、オプションを示しています。

Create capture field ✕

Type *

Date

Initial state *

Optional

Label *

Enter Label

Automation ID *

Enter Automation ID

Description

Enter Description

150 Characters remaining

Date format *

MM/DD/YYYY

Placeholder

Enter Placeholder

Allow dates

Any Only past Only future

Past date restriction


Enter Past date restriction

Future date restriction

Enter Future date restriction


Initial value *

Select Initial value

Cancel 

Create another Save

フィールド	説明
日付フォーマット	日付の形式を定義します。米国形式のMM/DD/YYYY、英国形式のDD/MM/YYYY、国際形式のYYYY/MM/DDの3つのオプションを使用できます。
日付を許可する	過去の日付のみを許可するか、将来の日付のみを許可するか、任意の日付を許可するかを制御します。たとえば、生年月日を入力する場合、必要な日付は過去の日付のみであり、将来の日付は不要です。
初期値	<p>なし]、今日]、今日+]、今日-]、[カスタム日付]の5つの選択肢を提供するドロップダウンメニュー。</p> <p>初期値]の設定は必須です。制限がない場合は、なし]に設定できます。ただし、初期値を今日]または 今日+]または 今日-]に制限することもできます。したがって、初期値を2週間前に設定するには、今日-]と入力し、新しいフィールドに「14」日と入力します。</p> <div data-bbox="277 757 1023 1111" data-label="Form"> <p>The screenshot shows a configuration window for the 'Initial Value' field. The 'Initial Value' dropdown is set to 'Today -'. Below it, the 'Days from Today's Date' field is set to '14'.</p> </div> <p>初期値として日付を指定できない場合は、[カスタム日付]を選択し、20世紀の最終日など、特定の日付を指定できます。</p> <div data-bbox="277 1223 1007 1574" data-label="Form"> <p>The screenshot shows a configuration window for the 'Initial Value' field. The 'Initial Value' dropdown is set to 'Custom Date'. Below it, the 'Custom Date' field is set to '12/31/1999' with a calendar icon to its right.</p> </div>
過去のデータ制限	[過去のデータ制限]を使用すると、フォームのユーザーがアクセスできる日付にウィンドウを作成できます。たとえば、14日を設定すると、ユーザーがアクセスできる過去14日間だけのウィンドウが作成されます。
将来のデータ制限	[将来のデータ制限]を使用すると、フォームのユーザーがアクセスできる日付にウィンドウを作成できます。たとえば、14日を設定すると、ユーザーがアクセスできる今後14日間だけのウィンドウが作成されます。

 今日-]または 今日+]とともに [過去のデータ制限]または [将来のデータ制限]フィールドを使用する場合、日付制限には合計日数を含める必要があります。ウィンドウの日数、および過去または将来の日数です。

時間

時間要素フィールドのユーザー入力を制御するために使用できるフィールドは、初期値用の1つのみです。

このフィールドは、表示のデフォルト値を設定するもので、ユーザーは必要に応じて変更できます。下図を参照してください。

Create Capture Field [X]

Type *
Time

Initial State *
Optional

Label *
Enter Label

Automation ID *
Enter Automation ID

Description
Enter Description
150 Characters remaining

Initial Value
12:00:00 PM [X]

12 : 00 : 00 PM
[Cancel] [OK]

Create another [Save]

アップロード

アップロード要素には、アップロードされるファイルの拡張子である1つの制御要素しかありません。

[画像]がファイルタイプとして選択されている場合、JPG、PNG、GIFのいずれか1～3つのファイルタイプを選択できます。

[ファイル]を選択した場合、フォームでサポートする拡張子のリストを追加できます。これらは、先頭の「.」なしで追加し、カンマで区切る必要があります。「.exe」拡張子付きの実行可能ファイルをロードすることはできません。

Create Capture Field ✕

Type *
Upload

Initial State *
Mandatory

Label *
Curriculum Vitae

Automation ID *
curriculum-vitae

Description
Allowed file formats are Word Documents or PDFs.
102 Characters remaining

Input Type
 File Image

Accepted Extensions (Comma Separated) *
doc, docx, pdf

Max Size (Mb) *
5

Create another

段落

段落を使用すると、フォームデザイナーは正しい情報を正しい形式で送信できるようにフォームにテキストを追加できます。このフォームを使用すると、設計者はテキストにさまざまな形式を組み込むことができ、テキストの重要な部分を強調できます。

段落は最初是非表示状態で展開でき、その後ルール条件が満たされたか、Digital Workerがオートメーションでフォームを更新した場合にルール条件が更新された場合にのみ表示されます。

Create Capture Field ✕

Type *

Paragraph

Label *

Note: The label will be displayed within Form Rules only.

Information

B / U / **A**

To use this form the **USER** needs to supply the following information: First Name, Family Name, Curriculum Vitae, Qualifications and National Insurance Number. Items marked in BOLD are mandatory items that must be supplied before the form can be submitted.

246 Characters remaining

Initial State

Hidden

Create another

罫線

罫線要素は、フォームをセクションに分割して読みやすくするために使用されます。線は前後のスペースを制御するために延長することができ、線の両側に最大999pxのスペースがあります。

Create capture field ✕

Type *

Horizontal rule ▾

Top padding (px) Enter Top padding (px) ▾

Bottom padding (px) Enter Bottom padding (px) ▾

Cancel ↺ Create another Save

ドロップダウン

[ドロップダウン]要素を使用すると、設計者はユーザーが選択できるドロップダウンメニューを構成できます。単一の選択については、リストが提供され、ユーザーはリストから1つの項目を選択できます。複数選択の場合、ユーザーは任意の項目数、最小項目数、または最大項目数のいずれかを選択できます。これは、[最小]選択フィールドと [最大]選択フィールドで構成された値によって異なります。

Create Capture Field ✕

Type *

Initial State *

Label *

Automation ID *

Description

83 Characters remaining

Selection Type

Minimum Selection

Maximum Selection

Options (6/250) Make Default

⬆	<input type="text" value="Apple"/>	<input type="text" value="apple"/>	<input type="checkbox"/>	✕
⬆	<input type="text" value="Banana"/>	<input type="text" value="banana"/>	<input type="checkbox"/>	✕
⬆	<input type="text" value="Grapes"/>	<input type="text" value="grapes"/>	<input type="checkbox"/>	✕
⬆	<input type="text" value="Pears"/>	<input type="text" value="pears"/>	<input type="checkbox"/>	✕
⬆	<input type="text" value="Peaches"/>	<input type="text" value="peaches"/>	<input type="checkbox"/>	✕
⬆	<input style="border: 1px solid #0070C0;" type="text" value="Oranges"/>	<input type="text" value="oranges"/>	<input type="checkbox"/>	✕

[Add New Option](#)

Create another

ラジオグループ

ドロップダウン要素のようなラジオグループ要素では、ユーザーは1つの項目を選択できます。この要素では、複数のエントリを選択することはできません。

フォームの設計者は、選択した項目をリストすることによってユーザーの表示内容を制御し、必要に応じてデフォルト値を選択できます。

Create Capture Field ✕

Type *
Radio Group ▼

Initial State *
Mandatory ▼

Label *
Gender

Automation ID *
gender

Description
Enter Description
150 Characters remaining

Options (3/10) Make Default

⬆ ⬆	Male	male	<input type="checkbox"/>	✕
⬆ ⬆	Female	female	<input type="checkbox"/>	✕
⬆ ⬆	Not specified	not-specified	<input type="checkbox"/>	✕

[Add New Option](#)

Create another

チェックボックスグループ

チェックボックス]グループのフォームデザイナーが使用できるオプションは、ドロップダウン要素と同じです。1つを選択するか複数を選択するかを選択できます。同様に、最小]選択と最大]選択の値を使用して、選択できる項目の数を設定できます。

Create capture field ✕

Type *
Checkbox group ▼

Initial state *
Optional ▼

Label *
Enter Label

Automation ID *
Enter Automation ID

Description
Enter Description
150 Characters remaining

Options (1/10) Make default

Enter Label Enter Value

Add new option

Cancel ↺ Create another Save

表

表要素を使用すると、設計者はユーザーが参照する表の行数を制御できます。

設計者は必要な数だけ列を作成し、列見出しを割り当てます。1つのテーブルに最大15列まで追加できます。ユーザーは表要素の設定での制御に従って、テーブルに行を追加または削除できます。

設計者は、初期行数、最小行数、最大行数を設定できます。

Create Capture Field ✕

Type *
Table ▼

Initial State *
Optional ▼

Initial Row Count
Enter Initial Row Count ▼

Label *
Enter Label

Minimum Number of Rows
Enter Minimum Number of Rows ▼

Automation ID *
Enter Automation ID

Maximum Number of Rows
Enter Maximum Number of Rows ▼

Description
Enter Description
150 Characters remaining

Columns (1/15) Allow Empty Value

Enter Label Enter Value

[Add New Option](#)

Create another

正規表現

フォームデザイナーで [egex] オプションを選択すると、表示されるデータの構造をプログラムできます。

次の表は、[egex] フィールドで使用できる一般的な文字と、実行される一致の例を示します。

フィールド	内容	例	一致
^	行の先頭に一致する	これは正規表現の入力の開始点を示すものです	
\$	行の末尾に一致する	これは正規表現の入力の終了点を示すものです	
.	任意の文字に一致する	^a.c\$	abc、a2c、axc
	OR(または)	^abc xyz\$	abcまたはxyz
[...]	括弧内に含まれるものと一致する	^[A-E]\$	大文字のA～Eのみ使用可能
[^...]	括弧内に含まれないものと一致する	^[^A-E]\$	大文字のA～Eは使用不可
{x}	一致回数が正確に「x」	^[A-E]{2}\$	大文字のA～Eのみを使用できます。少なくとも2文字を含む必要があります
{x,y}	一致回数が「x」～「y」	^[A-E]{2,4}\$	大文字のA～Eのみを使用できます。少なくとも2文字を含み4文字を超えることはできません
{x,}	一致回数が「x」以上	^[A-E]{2,}\$	大文字のA～Eのみを使用できます。少なくとも2文字を含む必要がありますが合計数は無制限です
+	「+」の前の文字の一致回数が1回以上	^ab+c\$	abcまたはabbbcに一致
?	「?」の前の文字の一致回数が1回以下	^ab?c\$	acまたはabcに一致
!	使用できない文字の一致を切り替える	^(?!000)[0-8][0-9]{2}\$	001から899の3桁は許容されますが、000という特定の数字は許容されません

例：国民保険番号

`^[A-CEGHJ-PR-TW-Z]{1}[A-CEGHJ-NPR-TW-Z]{1}[0-9]{6}[A-D]{1}$`

以下はこの正規表現の説明です

- `^`は文字列の開始を意味します
- `[A-CEGHJ-PR-TW-Z]{1}`は最初の文字に一致します。D、F、I、Q、U、またはVにすることはできません
- `[A-CEGHJ-NPR-TW-Z]{1}`は2番目の文字に一致します。D、F、I、O、Q、U、またはVにすることはできません
- `[0-9]{6}`は6桁でなければなりません
- `[A-D]{1}`は、最後の文字 (A、B、C、またはDのみ) に一致します
- `$`は文字列の終了を意味します

次の図は、有効な国民保険番号です。

Play test

A dedicated area allowing you to test the behaviour and look of an Interact form.

Inputs

Inputs

National Insurance Number *

次の図は、無効な国民保険番号です。

Play test

A dedicated area allowing you to test the behaviour and look of an Interact form.

Inputs

Inputs

National Insurance Number *

Invalid National Insurance Number entered

社会保障番号の例

$\wedge(?!000|666)[0-8][0-9]{2}-(?!00)[0-9]{2}-(?!0000)[0-9]{4}\$$

以下はこの正規表現の説明です

- \wedge - 文字列の開始を意味します
- $(?!000|666)$ - 000または666は入力できません
- $[0-8][0-9]{2}$ - 最初の桁は0~8、次の2つの桁は00~99に一致します
- $-$ - ユーザーはハイフンを区切り文字として入力する必要があります
- $(?!00)[0-9]{2}$ - 2つの桁が01~99に一致しますが、00は許容されません
- $-$ - ユーザーはハイフンを区切り文字として入力する必要があります
- $(?!0000)[0-9]{4}$ - 4つの桁が0001~9999に一致しますが、0000は許容されません
- $\$$ - 文字列の終了を意味します

次の図は、有効な社会保障番号です。

The screenshot shows a 'Play Test' interface with a sub-header 'Inputs'. Below it, a text input field is labeled 'Social Security Number *' and contains the value '123-45-6789'. The input field has a light blue border and a blue shadow, indicating it is a valid entry.

次の図は、無効な社会保障番号です。

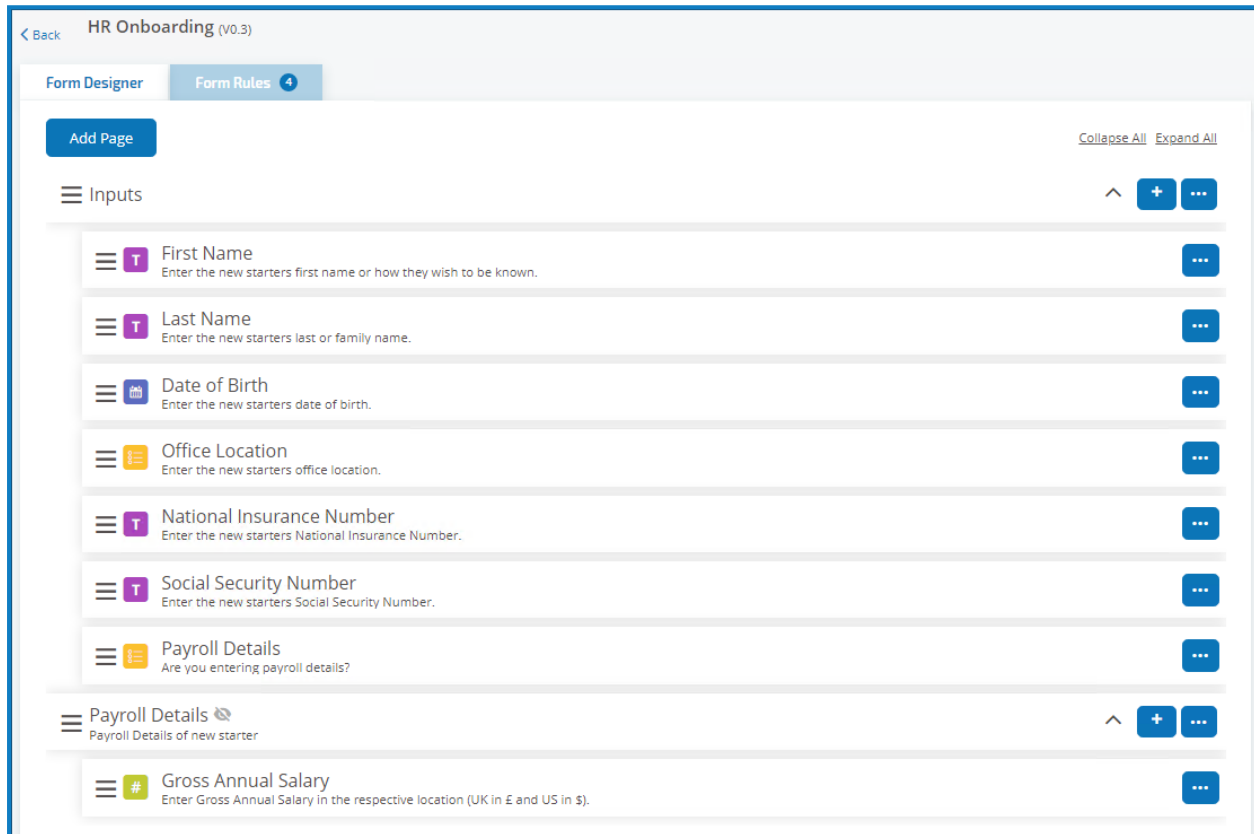
The screenshot shows a 'Play Test' interface with a sub-header 'Inputs'. Below it, a text input field is labeled 'Social Security Number *' and contains the value '000-45-6789'. The input field has a red border and a red shadow, indicating it is an invalid entry. Below the input field, the text 'Invalid Social Security Number entered' is displayed in red.

ルール

ルールにより、フォームの設計者は、特定の条件を満たすかどうかに応じて、フォームのフィールドやページを操作するためのシンプルなif-then構造を作成できます。

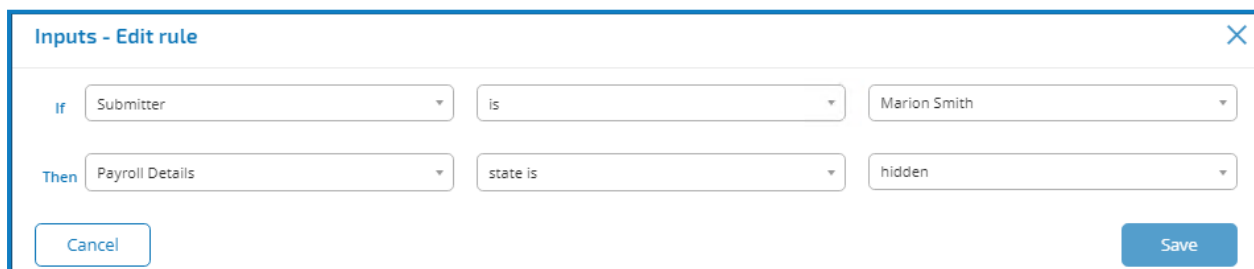
ルールの例

ルールの使用例を最もよく説明するために、オンボーディングプロセスを網羅するInteractフォームを例として示します。Interactでどのように使用できるかを示すために、いくつかの簡単なルールを定義しました。フォームは次のように表示されます。



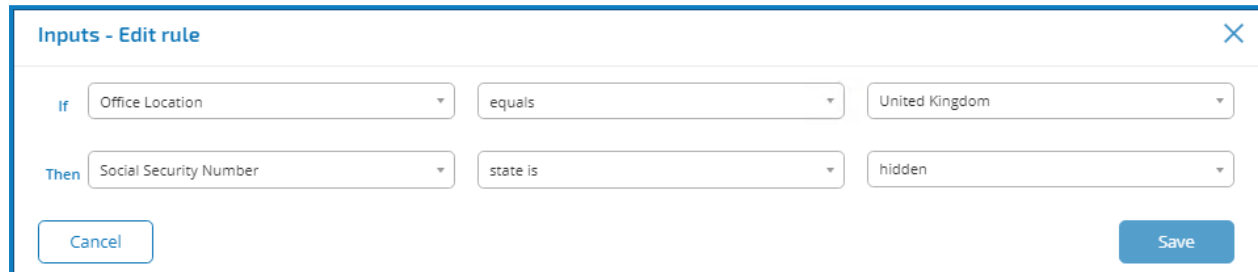
最初のルール例は、ユーザーが表示できるフィールドまたはページの制御です。標準のHubユーザー管理を通じてユーザーにフォームへのアクセス権を付与する場合でも、ユーザーがアクセスできない特定のフィールドを非表示にすることができます。

以下の例では、マリオン・スミスはフォームへのアクセス権を持っていますが、給与明細フィールドにアクセスすることはできません。これにより、マリオンは新規採用者に対して給与明細を追加することはできませんが、フォームの他のユーザーは追加できます。



2番目の例は、おそらくルールの最も一般的な使用例です。フォームには、新しい採用者が英国または米国のどちらを拠点としているかをユーザーが選択できるフィールドがあります。[英国]を選択した場合は国民保険番号を入力し、ユーザーが[米国]を選択した場合は社会保障番号が表示されます。

これには2つのルールが必要です。最初にフィールドを非表示にすることができないため、選択したオプションに応じてフィールドを「非表示」にする必要があります。2つのルールを以下に示します。

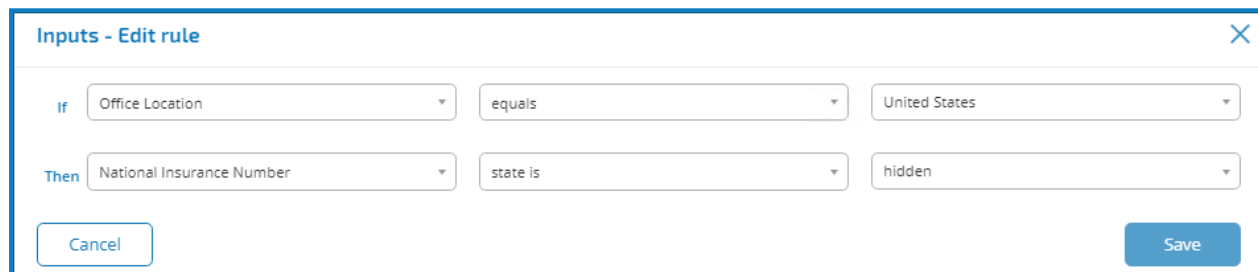


Inputs - Edit rule

if Office Location equals United Kingdom

Then Social Security Number state is hidden

Cancel Save



Inputs - Edit rule


if Office Location equals United States

Then National Insurance Number state is hidden

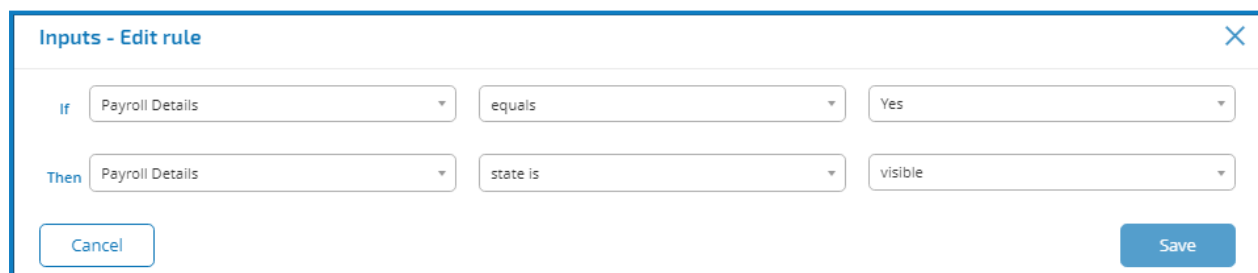
Cancel Save

最初のルールではオフィスの場所が英国に設定されている場合は社会保障番号を非表示にしますが、2番目のルールはその逆で、米国が選択されると国民保険番号が非表示になります。

これにより、ユーザーには、地理的位置に適した数字を入力するためのフィールドが1つのみ表示されるようになります。

 フォームのどちらのフィールドもオプションの状態に設定されます。必須に設定されていると、ユーザーは表示されない場合でもフィールドに入力しなくてはなりません。

最後のルール例は、フォームのページの非表示を表示にすることです。フォームには非表示のページがあります。それは給与詳細ページです。このページは、給与明細フィールドが以下の図のように「はい」に設定されている場合のみ表示されます。



Inputs - Edit rule

if Payroll Details equals Yes

Then Payroll Details state is visible

Cancel Save

このルールは、最初に説明したルールと連動して動作します。マリオンは給与詳細フィールドにアクセスできないため、2ページ目にアクセスすることができません。

ルールロジック

ルールロジックは、フォーム内で使用されている要素によって異なります。次の表は、適用できるルールロジックを示す特定の要素の種類を示しています。

要素	IFオプション	Thenオプション	状態
テキスト	次を含む、次を含まない、次と等しい、次と等しくない	状態は値を設定	オプション必須読み取り専用非表示
数値	次と等しい、次と等しくない、次未満である、次以下である、次を上回る、次以上である	状態は値を設定	オプション必須読み取り専用非表示
Date	次と等しい、次と等しくない、次より後である、次より前である、以下の月である、以下の月ではない、以下の年である、以下の年ではない	状態は値を設定	オプション必須読み取り専用非表示
時間	次と等しい、次と等しくない、次より後である、次より前である	状態は値を設定	オプション必須読み取り専用非表示
アップロード	ファイルサイズが次より大きい、ファイルサイズが次より小さい、ファイルタイプが次である、ファイルタイプが次ではない	状態は	
ドロップダウン	単一選択: 次と等しい、次と等しくない 複数選択: 次を含む、次を含まない、選択数量が次である、選択数量が次ではない、選択数量が次未満である、選択数量が次以下である、選択数量が次を超えている、選択数量が次以上である	状態は値を次に設定:	オプション必須読み取り専用非表示

要素	IFオプション	Thenオプション	状態
ラジオグループ	次と等しい、次と等しくない	状態は	オプション 必須読み取り専用 非表示
チェックボックスグループ	単一選択: 次と等しい、次と等しくない 複数選択: 次を含む、次を含まない、選択数量が次である、選択数量が次ではない、選択数量が次未満である、選択数量が次以下である、選択数量が次を超えている、選択数量が次以上である	状態は値を次に設定:	オプション 必須読み取り専用 非表示
表	追加された行数が次と等しい、追加された行数が次より大きい、追加された行数が次より小さい	選択不可	

デフォルトアイテムには、以下が適用されます。

フィールド	説明
ページ	「Then」にのみ追加でき、【状態】で【非表示】および【表示】の変更が許可されます。
送信者	「f」にのみ追加でき、次であるが許可され、次いで、指定された送信者が入力されます。
送信	「Then」にのみ追加でき、承認のために送信するかしないかのどちらかです。2つのオプションは、【承認が必要】または【承認は不要】です。
優先度	「Then」にのみ追加でき、使用できるオプションは次であるです。フォームの基本情報ページのデフォルト設定を上書きする優先度を設定できます。
SLA	「Then」にのみ追加でき、使用できるオプションは次であるです。フォームの基本情報ページのデフォルト設定を上書きするSLAを設定できます。